

日本JC交流委員会がお送りする 出向者応援新聞

「Liaison (リエゾン)」とは、ある地点や音をつなぐもの、またつなぐことによって新たに生まれるものを意味する仏語。横浜JCと出向者をつなぐ新聞という意味で名付けました。

Liaison

【リエゾン】

政治や制度の枠を飛び越え アジアをひとつに繋げる民間外交を！

出向者応援企画 Vol.1

公益社団法人日本青年会議所 国際グループ アジアアライアンス確立委員会

社団法人横浜青年会議所から出向しているメンバー72名を紹介し、応援する当企画。第一弾はアジア各国と日本の架け橋となるべく日々活動している「アジアアライアンス確立委員会」をご紹介します。

国家間で抱える諸問題を超越し、アジア全体の安定に向けて民間外交を推し進めていく。

J Cの存在する国とだけでなく、中国などの国々とも積極的に交流し、日本JCがアジア各国の橋渡し役となつて相互理解の機会を創出、相互発展に繋がる関係を構築する。そうした崇高な使命を掲げ、日々活動しているのが公益社団法人日本青年会議所 国際グループに所属する「アジアアライアンス確立委員会」だ。

国交正常化から40年目を迎える中国と「日中中期ビジョン5ヶ年計画」に基づき、中華全国青年聯合会と地方都市同士の相互交流促進を図り、災害対策や災害時のネットワークの情報交換などの交流を促進すること。また、J C Iアジア太平洋地域でのNOM諸会議・諸大会においては連絡窓口となり、訪日する各国NOM役員に対応するなど円滑に対話できるようサポートを行うこと、などを事業計画として掲げている。

民間外交を推し進めていこう、積極的に交流していこう！という意思だ。

横浜からは、運営幹事 秋元孝君をはじめとし、太田智洋君、古屋裕貴江君、季玉平君、松岡健次君の5名が出向している。

開港当時から未知の異文化と積極的に交流することで発展してきた横浜。その横浜を代表してアジアアライアンス確立委員会へと出向し、アジア各国との新たな架け橋を築かんとしている彼らにエールを！

委員長を務める三浦孝一郎君は委員長挨拶で：

「当委員会（アジア）が、アジアのデコボコを平らにする！」という表現をよく使う、とのこと。政治的に複雑な関係（デコボコ）に縛られることなく、



【アジアアライアンス確立委員会 事業計画】

1. 日中中期ビジョン5ヶ年計画による更なる交流の推進
2. J C Iアジア太平洋地域におけるNOM諸会議・諸大会への対応
3. J C Iアジア太平洋地域におけるNOM役員の対応
4. J C I APDCの協力及び支援
5. 「日本JC日中友好の会」との連携

出向者が日々のJCライフを五七五調でつづやく...

Jaycee山柳

アジアラは

アジアのかけはし

パイオニア

秋元孝

今日は無理

無理がきかぬが

J C 呑み

太田智洋

J Cで

得たものすべてが

宝なり

古屋裕貴江

日中を

つなぐ私の

晴れ舞台

季玉平

ニッポンと

アジアの架け橋

世界へど

松岡健次



盛岡の地から復興を願う 『復興創造フォーラム2012』

3月10日(土)・11日(日) 岩手県盛岡市において、公益社団法人日本青年会議所第139回総会および「復興創造フォーラム2012」が開催されました。今回はその「復興創造フォーラム2012」で11日(日)に行われた「東日本大震災合同慰霊祭」について、復興支援委員会出向者が報告します。

今回の「東日本大震災合同慰霊祭」は、全国のJCメンバーが「東日本大震災」に対する風化の防止と、今後長期に渡って行っていくかなければならぬ復興支援を明確に示し、主体的、継続的に支援活動を行い、東日本大震災で犠牲となった15841人の方々に追悼の意を表すことを目的として開催されました。

震災直後から現在までの復興過程の写真や動画をまとめた映像「四度目の奇跡に向けて」の上映に始まり、井川会頭のご挨拶、発災時刻である14時46分の黙祷...などのプログラムを実施。「主催者代表者献花」では井川会頭と、被災地の先頭に立つて支援を行ってきた被災ブロック代表が



各地青年会議所から多くのメンバーに参加いただいた「東日本大震災合同慰霊祭」。横浜から副委員長として出向している文字放浪君をはじめとする復興支援委員会出向メンバーが活躍していました。

神戸・横浜の絆を深める 『友好JC定例会議』を開催



3月17日(土)・18日(日)、神戸の地において友好JC定例会議が開催されました。

友好JC定例会議とは1985年に社団法人神戸青年会議所(※調印時名称)と社団法人横浜青年会議所が盟約を調印して以降、毎年行われ

ている理事者会議です。毎年、横浜・神戸の地を交互に訪れて事業等に関する情報交換を行い、互いの交流を深めることによって今後の事業展開に幅を持たせ、精度を深める目的で開催されています。

会議では、両JCが2011年度の事業報告を行った後、各理事者から本年度の運動内容を発表。また今回は仙台JCのメンバーを招き、7月に神戸JC・仙台JC・横浜JCでの共同開催が予定されている震災復興共同事業についても情報共有が行われるなど、盛り沢山の内容となりました。

翌18日は減災、防災に関する調査を目的とした「人と防災未来センター」を見学。当委員会メンバーもアテンドを忘却して見学に没頭してしまふほどのインパクトがあり、貴重な時間を過ごしました。

定例会議のスケジュールとしてはここで終了しましたが、18日午後には神戸・横浜のフットサルメンバーが集い、足技を競う「友好JC親善フットサル大会」が開催され、充実した二日間となりました。

今会議における神戸JCの設え、受け入れ態勢は大変素晴らしい、当



「港だけではなく横浜の魅力」を神戸JC、仙台JCの皆様にお伝えするため、懇親会会場にてPRを行いました。

委員会の活動においても参考とさせていただきます。今回、会議を設えていただいた神戸JCの皆様、仙台JCの皆様、そして横浜から参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

(記事/谷崎和美)

日本JC交流委員会のアテンド活動報告!

2月28日(火)、横浜市長林文子氏とサマーコンファレンスなどについての会談のため、公益社団法人日本青年会議所井川直樹会頭、後藤素彦副会頭、サマーコンファレンス運営委員会中谷憲正委員長に横浜の地までお越しいただきました。

また3月9日(金)には関東地区神奈川ブロック協議会JC運動発信委員会が、3月17日(土)には企業の未来デザイン委員会が横浜で委員会を開催され、当委員会にて渉外活動を行いました。

当委員会では、日本JC各会議・委員会、神奈川ブロック協議会における横浜での会議開催を全力でサポートいたします。今後もしよろしく願います!